

福島県三島町
広報

平成 27 年 10 月 2 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2015

October

10

No.271

長寿を祝った三島町敬老会



桐寿苑で「長寿を祝う会」開催

10月

目次

- 2 桐寿苑「長寿を祝う会」
- 3 三島町敬老会
- 4 TownNews みしまの出来事
- 5 内閣総理大臣から100歳の祝状贈呈／目指せ自己ベスト！三町村小学校体育交流会陸上記録会／第9回福島県市町村対抗軟式野球大会／秋の全国交通安全運動に合わせ、街頭キャンペーン／田んぼの学校で稲刈り！／「奥会津ロックフェスティバル2015」美坂高原で開催
- 6 町民記者通信
 桧原地区健康守る会研修視察／今年も子ども神輿と豊年踊りで大盛況！（西方地区）／歩け歩けとグランドゴルフ大会（大石田地区）／今年も元気でボランティア（高清水・小山地区老人クラブ）
- 7 みんなの公民館
- 8 行政相談のお知らせ／調停相談会のお知らせ／全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間の実施について／会津若松税務署から平成27年分年末調整説明会開催／こころの健康講演会「あなたのこころは元気ですか？」／原子力損害賠償巡回法律相談について／『会津物語』出版
- 10 民話
- 11 ～診療日記～ 他
- 12 第5回「撮」っておきのみしま町フォトコンテスト特別賞作品紹介（来場者投票）

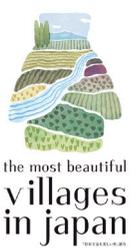


職員による三島音頭が披露される



三島保育所の子どもたちによるヨサコイ踊り

桐寿苑の長寿を祝う会は9月11日に行われ、入所者の皆さんが施設内のホールに集いました。90歳を迎えられた方3名、85歳を迎えられた方2名、80歳を迎えられた方1名、に祝金が手渡され、白寿を迎えられた方1名、米寿を迎えられた方3名が表彰されました。入所者を代表して、米寿の五十嵐ハヤノさんがお礼の言葉を述べました。その後、三島太神楽保存会による長獅子火男、三島保育所の子どもたちによるヨサコイ踊り、職員による三島音頭が披露され、入居者の皆さんが楽しい1日を過ごされました。



the most beautiful
villages
in japan

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



只見川第一鉄橋

三島町敬老会

金婚夫婦4組表彰



金婚夫婦表彰を受ける鈴木由二さん、美代枝さんご夫妻（大石田）



会場内の様子



山木屋太鼓 遠藤元気さんによる和太鼓の演奏

三島町敬老会は9月2日、森の校舎カタクリ体育館で開かれました。町内の満75歳以上の方々567名を招待し、そのうち211名の皆さんが地区ごとに連れ添って来場しました。結婚50年の金婚夫婦4組が福島民報社から表彰され、代表して鈴木由二さん・美代枝さん夫妻（大石田）に、会津坂下支局の佐藤庄太支局長から表彰状とおしどり金メダルが手渡されました。

また、88歳の米寿を迎えられた方24名、99歳の白寿を迎えられた方2名が表彰されました。

小柴修一議会議長が祝辞、町老人クラブ連合会の二瓶一男会長が謝辞を述べられました。

演芸会に移り、招待された皆さんはお弁当を食べながら、三島保育所の子どもたちの演技や山木屋太鼓の演奏、レイモミ小野フラスクールによるフラダンスや三島太神楽保存会による長獅子火男を鑑賞し、楽しいひと時を過ごしました。

内閣総理大臣から100歳の祝状贈呈

9月11日、栗城ヒサノさん（宮下）に内閣総理大臣から100歳高齢者に対する祝状と記念品が贈られました。桐寿苑「長寿を祝う会」の中で、祝状と記念品が矢澤町長から手渡されました。長寿の秘訣は、「好き嫌いなく何でもよく食べる事と、山菜取りなど山をよく歩いた」と、ご家族がお話されていました。



矢澤町長から100歳高齢者の祝状を受け取る栗城ヒサノさんとご家族

目指せ自己ベスト！三町村小学校体育交流会陸上記録会



全力を出し切った陸上記録会

両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会は9月16日に金山小の校庭で行われ、三島小、金山小、横田小、昭和小の5年生と6年生が参加しました。三島小は4×100mリレーで男女共に優勝し、個人種目でも多くの児童が素晴らしい結果を残しました。

【三島小児童の主な記録】▶5・6年男子1000m鈴木啓生（5年）4分13秒▶5年男子80mH小松広利19秒32▶6年男子80mH小松凌大15秒73▶5年男子走り幅跳び鈴木啓生2m83▶6年男子走り幅跳び坂内悠吏3m43▶5年男子走り高跳び小松広利1m3▶6年男子走り高跳び小松凌大1m15▶5・6年女子100m佐藤花音（6年）16秒70▶5・6年女子800m秦梨緒（6年）3分17秒58▶6年女子80mH鈴木彩月17秒48▶6年女子走り幅跳び佐藤花音3m19▶5年女子走り高跳び菅家悠那1m1▶5年女子ボール投げ板橋唯19m39▶6年女子ボール投げ鈴木彩月31m60 ※記録については第1位のみ掲載しております。

第9回福島県市町村対抗軟式野球大会

第9回福島県市町村対抗軟式野球大会は9月19日、しらすわグリーンパーク野球場（本宮市）で行われました。8回目の出場となった三島町は、国見町と対戦しました。今年は他町村との練習試合を多く行い、本番に向け調整し、念願の初戦突破を目指して挑みました。三島町の応援を味方に、8安打を放つも1点が遠く、2対4で敗れましたが、攻撃・守備共に安定感は増しており、来年に期待が持てる試合展開となりました。選手の皆さん大変お疲れ様でした。

1 守備を終えベンチ内に下がる三島ナイン / 2 エース板橋洋平投手（宮下）が力投・守る三島ナイン



1



2

秋の全国交通安全運動に合わせ、街頭キャンペーン

秋の全国交通安全運動に合わせ、街頭キャンペーンが9月25日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、会津坂下警察署などが参加し、通行するドライバーに交通安全を呼び掛ける記念品を配りました。これからは日没がどんどん早まっていますので、早めのライト点灯を心掛け、心にゆとりを持って安全運転をしましょう。



国道252号沿いで行われた交通安全街頭キャンペーン

田んぼの学校で稲刈り！



びおたんクラブの方々の指導で刈り取りをする三島小児童

三島小の田んぼの稲刈りは9月24日に行われ、5年生が実った稲穂を刈り取りました。宮下地区の、びおたんクラブの方々に協力してもらい、子ども達は鎌の使い方や、稲のしぼり方などを教わりながら稲刈りを行いました。子ども達とびおたんクラブの方々に刈り取られた稲は、宮下活性化センター裏で乾燥中です。今後は10月中旬に脱穀の作業が控えています。

「奥会津ロックフェスティバル2015」 美坂高原で開催



大勢の来場者で賑わいをみせた



来場者の熱気で包まれた会場



熱唱する土屋アンナさん

「奥会津ロックフェスティバル2015」は8月29日、美坂高原で行われ、約2,500人が訪れました。開会式では実行委員長の三浦直樹さん（町観光協会事務局長）があいさつを述べ、恒例の「奥ロック！」の掛け声とともに開会宣言を行いました。正午からの開演で、土屋アンナさん他、5組のアーティストが出演し、会場を盛り上げました。会場内では『奥会津うまいもんフェア』も同時開催され、奥会津の美味しいものが集結。奥会津以外にも、只見線沿線町村の「新潟県魚沼市」や「会津坂下町のホルモン馬焼そば」が出店しました。



📷 梶原地区健康守る会研修視察

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん(梶原)



日光東照宮での見学の様子



華厳の滝

9月6日、梶原健康守る会は、会長片山敏幸さん(区長)他30名の参加により「日光東照宮と華厳の滝」の研修視察を行い、午前中に東照宮を参拝、午後は華厳の滝を視察しました。日本を代表する世界遺産「日光の社寺」の中でも、最も有名な「日光東照宮」の境内には、国宝や重要文化財が多く、皆さん関心を持って見学していました。今年は徳川家康公の400年回忌を迎える大切な節目の年であり、50年に一度の式年大祭が開催されていて、参拝に来られた方々は、特に御利益があるとの事で記念のお札を受けていました。華厳の滝では97メートルの岸壁を一気に落下する壮絶な滝を楽しむ事ができ、往復に立ち寄った道の駅で休憩と買い物しながら、地区の皆さんが親睦を深めた有意義な視察研修になりました。

📷 今年も子ども神輿と豊年踊りで大盛況! (西方地区)

文・写真 町民記者 本名与四郎さん(西方)

9月12日、午前10時より、例年行われている西方地区の「子ども神輿」が行われました。当日は半袖でも暑いくらいの天候に恵まれました。子ども神輿は旧西方児童館から家登屋さんまでの直線の道のりを「ワッショイ、ワッショイ」と大きなかけ声に合わせて練り歩きました。神輿の途中、西方在住の三島小の子どもたちと若妻会の皆さんによる「よさこい踊り」やスポーツ民踊クラブの元気はつらつとした踊りが披露され大勢の観客から拍手喝采がありました。夜になると、「豊年踊り」が開催されました。今年も趣向を凝らし仮装したグループや個人が多く出場し、会場を大いに盛り上げました。子ども神輿と豊年踊りで楽しい初秋の1日を過ごすことができました。



今年も豊作を願った「豊年踊り」

📷 歩け歩けとグランドゴルフ大会(大石田地区)

文・写真 町民記者 中兵一郎さん(大石田)



全員で集合写真

9月13日、大石田地区健康守る会の歩け歩けとグランドゴルフ大会が美坂高原において行われました。歩け歩け大会は11名の方が大石田寺の下から美坂高原まで約4Kmを歩きました。途中で疲れて頑張れ頑張れの声もかかり楽しく約1時間をかけて歩きとおしました。グランドゴルフ大会は58名が参加しホールインワンも多数あり成績は次の通りです。優勝▶渡部繁信さん、2位▶渡部重記さん、3位▶五十嵐重雄さんでした。各組対抗は安定した力を出した3組が優勝でした。その後、親睦と反省会を美坂高原で行い、体、精神ともリフレッシュした1日となりました。

📷 今年も元気でボランティア(高清水・小山地区老人クラブ)

文・写真 町民記者 菅家敏一さん(高清水)

地区の老人クラブでは、総勢17名の方が今年も桐寿苑周辺の草刈り・花壇の草むしりを行いました。ご高齢の方が入苑されていますので、除草作業は大変であろうと、クラブとして長く続けてきています。傘寿を越された方々も参加しましたが、年を感じさせず黙々と作業する姿は、敬服せざるをえません。作業終了後は、皆が清々しい気持ちで帰路についたことでしょう。



作業途中の休憩



花壇の草むしり作業の様子

みんなの公民館

三島町公民館
☎(48) 5599

◎公民館ってなに？

「こうみんかん」と言っていますが、公民館とは何なのか、改めて考えてみたいと思います。

公民館については、社会教育法の第20条に「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」と定められています。つまり、町民の皆さんが学んだり運動したりして、自らを高めていく場所ということですね。またそのために、図書や各種資料などを備えること、講演会や展示会を開催することなども、公民館の役割とされています。

当町では、公民館とい

えば町民センターのことですが、そこで実施する各種教室や文化祭、図書コーナーの運営などのほか、交流センター山びこでの各種展示会も公民館事業の一環だといえます。さらに山びこを拠点として進めている町史編さん事業も、教養向上や文化振興のための資料を備えるという点で、公民館の仕事と位置付けられます。もちろん町民の皆さんの各種クラブ活動や集会などに施設を利用している点も、公民館の重要な役割です。当町は人口減少、少子高齢化が進み、町民の方々とともに取り組む事業も縮小傾向にはありますが、公民館の目的を達成できるように、当町でできることを一步一步進めたいと思います。

◎平成27年度の主な公民館事業

- ▼少年教育
- ・桐の子隊
- ・ゆめぼけっとクラブ
- ・総合学習支援（地区探検・桐の学習・田んぼの学校・おばあちゃんの味）
- ・山つ子スクール（3町村合同）
- ▼女性・家庭
- ・ワンダークラブ
- ・ヨガ教室
- ▼成人教育
- ・成人式
- ・男の料理教室
- ▼社会体育
- ・町民運動会
- ・スポーツ教室（ウォーキング教室・スキー教室）
- ・スポーツ大会（ビーチバレーボール大会・地区対抗ソフトボール大会・すってんコロナピック）
- ・市町村対抗競技大会への参加（県民スポーツ大

会・市町村対抗野球大会・市町村対抗駅伝大会

- ▼芸術・文化
- ・文化祭
- ・文化財の保存活用、民俗行事等の継承支援
- ・町史編さん事業
- ・交流センター山びこ運営事業（各種展示会・貸館等）
- ・映画上映会
- ・【県事業】森のはこ舟アートプロジェクト
- 《その他》
- ・施設の維持管理（町民運動場、町営スキー場、生涯学習センター）



工芸館での著作体験（山つ子スクール）



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

Book Review

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日祝 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



火花

又吉直樹 著
文藝春秋

よしもと所属のお笑いコンビ「ピース」の又吉直樹さんの芥川賞作品。笑いあり、少し切なくなる、濃密な青春を描いた小説です。



シンプルに考える

森川亮 著
ダイヤモンド社

スマホ向けアプリ「LINE」を全世界に広めた社長の著作。「あれもこれも」と表面的な価値に惑わされるのではなく、「何が本質か」を考え尽くすことを説く。



ハツ江の料理教室

高木ハツ江 著
小田真規子 監修
NHK 出版

NHKの番組「きょうの料理ビギナーズ」に収録されたメニューを詳しく掲載。食材の下ごしらえや、「焼く」「煮る」など調理の基本を分かりやすく解説します。

行政相談のお知らせ

10月19日(月)から25日(日)までの1週間は「行政相談週間」です。行政相談は、役所(国・県・市町村)や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、わからないこと、要望したいことなどの相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。相談は無料で秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

- 日 時 毎月第3水曜日 午前10時～午後3時
- 会 場 町民センター
- 行政相談委員 小柴 ヨシノさん(西方) ☎ 52-2480



行政相談員
小柴ヨシノさん

☎ 役場 総務課 ☎ (48) 5511

調停相談会のお知らせ

- 日 時 11月10日(火) 午前9時30分～午後6時30分
 - 会 場 会津若松市文化センター
 - 費 用 無料
 - 申込方法 当日会場で受付(午後6時まで)
- ※ご相談内容は外部に漏れることはありませんので、安心してご相談ください。

☎ 福島地方裁判所会津若松支部所庶務課 ☎ 0242 (26) 5725

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間の実施について

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、電話相談の取り組みを強化します。相談は、無料で秘密は守られます。人権擁護委員及び法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。なお、強化週間の期間以外の日(土・日・祝を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますので、ご利用ください。

- 期 間 11月16日(月)から11月22日(日)までの7日間
 - 時 間 午前8時30分から午後7時まで
ただし、11月21日(土)と11月22日(日)は午前10時から午後5時まで
- 電話番号 **0570-070-810** (全国共通ナビダイヤル)

☎ 福島地方法務局人権擁護課 ☎ 024 (534) 1994

会津若松税務署から平成27年分年末調整説明会開催

間もなく年末調整の時期を迎えますので、下記の日程で年末調整の説明会を実施します。

- 対象者 町内の法人及び個人事業者
- 日 時 11月16日(月)
＜受付＞午後1時から ＜説明会＞午後1時30分から午後3時20分
- 場 所 三島町町民センター

☎ 会津若松税務署 法人課第一部門 ☎ 0242 (27) 4311

こころの健康講演会「あなたのこころは元気ですか？」

～ストレスやうつ病を正しく理解しよう～

職場や家庭の環境、人間関係など、わたしたちは日常生活の中で様々な刺激を受けています。これらの刺激をストレスと感じるとき、どのような対応したらよいのでしょうか・・・一緒に考えてみませんか。

一般財団法人竹田総合病院こころの医療センター

- 講師 上島雅彦 先生
- 日時 10月21日(水) 午後7時～午後8時30分(受付開始 午後6時30分)
- 会場 会津若松市生涯学習総合センター (会津稽古堂)
多目的ホール
- 参加料 無料
- 定員 120名(先着順)
- 申込期限 10月16日(金)まで

申込・問合せ先 会津保健福祉事務所障がい者支援チーム ☎0242 (29) 5275

原子力損害賠償巡回法律相談について

福島県では、福島県弁護士会と連携し弁護士による対面の法律相談を実施しております。相談料は無料ですので、請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。なお、事前予約となりますので、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

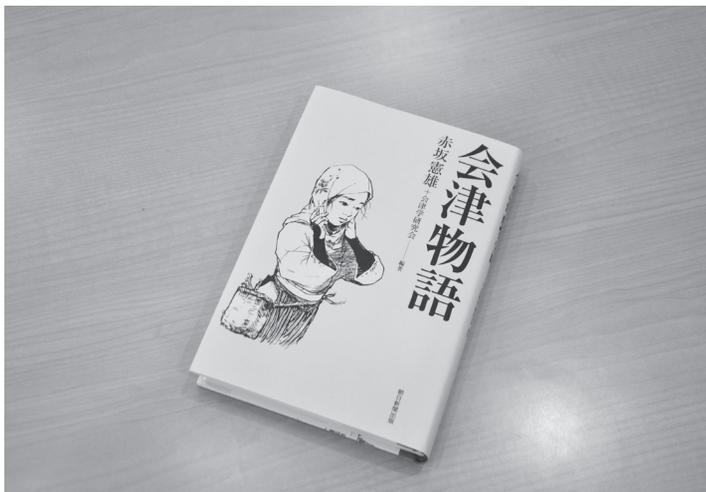
- 実施日 11月25日(水)
- 相談時間 30分(午後1時30分～午後3時45分の間実施)
- 会場 会津若松市合同庁舎本館3階地域連携室
- 相談料 無料

事前予約受付番号 024 - 523 - 1501

受付時間 午前8時30分から午後5時15分(平日)

『会津物語』出版

会津学研究会事務局 奥会津書房 遠藤由美子さんより寄贈されました



2011年8月から3年間、会津学研究会(事務局:奥会津書房)として朝日新聞福島県版に連載しておりました『会津物語』が今年8月、朝日新聞出版より上梓されました。新宿紀伊国屋でも、売り上げの2.3%を占めています。『会津物語』の採録地は会津全域に亘っておりますが、中でも三島町・金山町・昭和村・柳津町が多く掲載されています。この本を多くの皆さんに読んでいただければと思います。町民センター図書コーナー ゆめぼけっとへ展示いたしますので、ぜひご覧ください。

民話



第55話 兄弟二人と山姥

元話 故小柴モトさん(西方)
再話 五十嵐七重さん(西方)

昔あったとく。昔は獵師どつて、キツネとかタヌキとか山があとつてきて食ったりなんぞしていたんだべえ。

あつとき兄の方が、食う物いっぺえ背負つて山サ行つたんだ。しかし、その日はなんぼう歩いてても歩いてもナ 何もとれなかつたどお しまいに夜なつちまつて、家サもどれなぐなつちまつたあ

困つたなあど思つていならば、でつかい木んどこサぶつあげだ提灯がユラリどぶらさがつたどお。したらば その中からヒョウッちゅつけが山姥出てきて糸引きはじまつたあどお

ガラガラガラ ヒョウッヒョウッ
ぶつあげだ提灯の中から 糸が出てくる 出てくる

山姥チラツと兄んどこ見て にやりど笑えは ぶつあげだ提灯中が あ 糸が出てくる。 兄は脂汗でてきた、なじようにがすなんねえど思つて鉄砲ぶつたどお

ひとつもあだんねえどお。 山姥はあくびなんどして アー アーなんてにやりど笑うだどお。兄あわくつてドーン ドーン何発もぶつたどお。あだんねえ、おつかなくて逃げだどお。なんぼお逃げてても人間はそういう魔物にはかなわねえわなあ、そんじえ つい 食わつちまつたどお。

さて 舎弟の方は、なんぼお兄さんまつちえても来ねえんだあ
「来ねえなあ 来ねえなあ」 一晚中待つてだどお。朝んなつちまつた、舎弟は兄さんの食い物いっばい背負つて鉄砲持つて、玉入つちえ行つたんだどお。

ガサガサ ガサガサ 山ん中サ行つたどお。したら やつぱり獲物は捕れめえし兄はどこさもいねえべし 心細くなつていだら、でつかい木んどこサ、ぶつあげだ提灯がさがつたどお。そつから魔物が出てくる、山姥は糸車出して糸引きはじめだどお

ガラガラガラ ヒョウッヒョウッ
ぶつあげだ提灯の中から 糸が出てくる 出てくる

山姥、チラツと舎弟んどこ見て にやりど笑えは ぶつあげだ提灯中から糸が出てくる 出てくる。 舎弟は無我夢中で鉄砲ぶつたどお。したが 山姥は二タ二タ笑つてんだどお

「神様 なじよしたら よがんべえ」玉も一発しか残つてねえがら、祈つたどお
「んだつ 糸も山姥も提灯があ出だ、んだつ 提灯だあズツドオーン」とぶつた
「ギャウッ」ちゅうど 山姥んどこ死止めたんだ

舎弟は助かつたが兄さんは山姥にくわれつちまつて鉄砲だけ残つただ。
鉄砲ぶちの言い伝え、思い出した舎弟が、兄の仇をとつたむがしな
ざつとむかしさげえだどお

蕎麦口上

故角田光雄さん(大登)

とざいと とざいとチヨツト鳴り物をとめおきまして
そそうなる奴がまかり出て ほめるようこそしらねども
あさぎにサツトほめましよう そばらく そばらく

ひとつ ひまないこのやつこ
ふたつ ふたおぼ ちゃんどとり
みつ つ みごとにもりしそば
よつつ よそのむらまでも
いつつ 五段のそばならゆだんなく
したじは高遠 さつと花かつお
むつつ むしように うりひろめ
ななつ 名代の蕎麦なれば
やつつ 屋敷の目出度さを
ここのつ ここのご評判
とおに とつくりと あがられましよう



三島町生活工芸館 勤務

猪俣 さおり (いのまた さおり)

9月より地域おこし協力隊として、三島町生活工芸館で勤務しています猪俣さおりです。前職の観光や歴史文化の仕事を通じて、様々な専門家と接する中で、ものづくりの職業に就きたいと思うようになりました。これからは、皆様のご指導を頂きながら、編み組の技術を学び、三島町ならではの魅力を外へ発信していきたいと思しますのでよろしく願います。



診療日記

宮下病院
内科 愛澤 正人

御存知の方も多いかとは思いますが、先日国立がん研究センターから、大腸がんにかかる人の数が、胃がん、肺がんを抜いて1位になったとの発表がありました。それに伴い、死亡率も上昇しております。私も日々診療しておりますが、確実に大腸がんは増えてきている印象です。がん…という病名を聞くと、治らないとお考えの方もいらっしゃるかもしれませんが、実際に、肺がんやすい臓がんなどは、発見も難しい上に進行して発見された場合治療も難しい事が多いです。しかし、大腸がんに関しては、早期に発見できれば9割完治できる癌なのです。以前から、大腸がん検診を勧めさせていただいておりませんが、やはり、早期発見には大腸カメラで実際に見るのが一番です。検査に対する疑問や不安など、可能な範囲で対応致しますので、どうぞお気軽にお尋ね下さい。40歳以上はがん検診を、そして、機会があれば大腸カメラをやって頂いて、早期発見、早期治療を目指しましょう。

ご寄附

ありがとうございました
町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

- 管 家 政 浩 様 (間 方)
- 秦 昭 吉 様 (大石田)
- 渡 部 讓 治 様 (大 登)

地域ふれあいサロン

浅岐あつたかサロン・大石田友遊サロン合同遠足

10月5日(月) 会津三観音巡り

サロンないり・滝谷和楽塾合同遠足

10月21日(水) 山形県

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

町の人口と世帯

9月1日現在

人口	1,783	1	出生	0
男	864	-1	死亡	1
女	919	2	転入	5
世帯	798	-1	転出	3

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

10月の納税

納期限 11月2日

▶町県民税 (普通徴収) 第3期

▶後期高齢者保険料 (普通徴収) 第3期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

「撮」っておきのみしま町

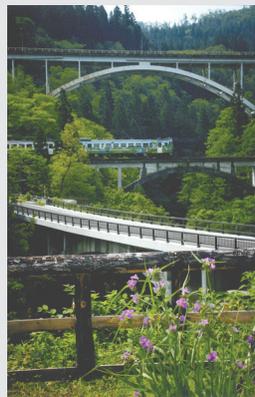
フォトコンテスト特別賞作品紹介 (来場者投票)



【第1位】 44票
「もうすぐだね」
山浦智大さん (会津若松市)



【第2位】 33票
「幻想的なカタクリと星々」
佐山勝信さん (会津若松市)



【第2位】 33票
「橋の町みしま」
近藤広章さん (白河市)



【第4位】 30票
「紅葉と只見線」
坂本チヨさん (福島市)



【第5位】 28票
「霞萌」
宮本広文さん (千葉県)



【第5位】 28票
「静寂のとき」
渡邊廣壽さん (栃木県)



【第7位】 27票
「にこやかに」
物江郁雄さん (東京都)



【第8位】 26票
「はじめてのおつかい」
五十嵐義幸さん (三島町)



【第8位】 26票
「清水水の郷」
門林泰志郎さん (いわき市)

投票総数 359名 993票
たくさんの投票をいただきありがとうございます。
問 交流センター山びこ ☎ (52) 2165

No. 3 町長日記 (不易流行)

敬老会に参加していただいた、高齢者の皆さん、そして民生児童委員・婦人会の皆さんご苦労様でした。高齢者と言われる年齢の定義は65歳以上です。その定義によって福島県市町村の高齢化率をだすと、金山町が59・5%で県内最高。昭和村が2位で55%、我が三島町が3位で51・3%です。この高齢化率の高さは、東北の市町村でも1位から3位を占めています。少子高齢化の影響もあり、高齢者1人に対し、現役世代は1対1の割合になっており、つまり高齢者1人を現役世代1人で支えている人口構造になっております。

日本は世界に誇れる長寿国になったのは町民の皆さん、ご承知のとおりであります。今後もこの流れを止めることはできませんし、益々充実していく必要があります。日本の医療や保険制度そして公衆衛生制度等々は世界でもすばらしいと言われております。三島の高齢者のみなさんも今後の人生に胸を張って生きてください。町民全体で支えていかなければと考えています。その為には高齢者や現役世代を分断するのではなく個々人が自分の問題として相互をいたわる、チーム三島として考えていく必要があります。私の町政に関する考え方は、「この土地に生きてきた人の声に耳を傾ける」且つ「雪国の生活文化を活かしていく町づくり」であります。その為の基本姿勢として、「温故知新」という考え方を、つまり「古きをたずねて新しきを知る」事をモットーとして展開していきたいと考えています。未来の選択は過去にヒントがあるというのが私の信念であります。

高齢者の課題は、若者世代の課題でもあります。若者定住の課題は、産業や教育等々の課題でもあり、この若者定住の課題を、ふるさと運動・生活工夫運動・健康づくり運動・地区プライド運動・有機農業運動の「魂」を総動員し、総合的且つ具体的に施策立案に生かしていく必要があります。先人から「贈与」されたこれらの運動を我々の世代で確かな物として、次の世代に今度我々が「贈与する責任」があると考えています。若者定住の施策に対する町民の多様なご意見をお待ちしております。

三島町長 矢澤 源成